



令和7年度2回目の村有図書を 61冊購入しました！

今年度2回目となる「村有図書」に購入を行い、役場玄関横の「図書コーナー」の新着図書コーナーに配架しました。第173回芥川賞・直木賞候補作や道新読書ナビで紹介された本など、話題作をピックアップしてみました。どうぞ、役場の図書コーナーにお越しください。

(赤井川村教育委員会)

<北海道の本>

『アイヌがまなざす』 石原真衣・村上靖彦

『絶景 北海道の鉄道』『北海道 夜汽車の記憶』 番匠克久

<小説>

『嘘と隣人』 芹沢央 第173回直木賞候補作 『ビスケット』 キムソンミ

『Nの逸脱』 夏木志朋 第173回直木賞候補作 『クロエとオオエ』 有川ひろ

『踊りつかれて』 塩田武士 第173回直木賞候補作 『熟柿』 佐藤正午

『踊れ、愛より痛いほうへ』 向坂くじら 第173回直木賞候補作

『セルフの死』 本谷有希子 『飛越 ～ジャンプ』 馳星周

『ブレイクショットの軌跡』 逢坂冬馬 『フロントライン』 増本淳

『マスカレード・ライフ』 東野圭吾 『ポピュリズム』 堂場瞬一

『楽園の瑕』 相場英雄

<自己啓発>

『アウト老のすすめ』 みうらじゅん

『感情的にならない本ー不機嫌な人は幼稚に見える』 和田秀樹

『ほどよく孤独に生きてみる』 藤井英子

『戻れないけど、生きるのだ』 清田隆之



<歴史・歴史小説>

『硫黄島上陸 友軍八地下二在リ』 酒井聡平

『天までのぼれ』 中脇初枝 『札幌誕生』 門井慶喜

『乱歩と千畝ーRAMPOとSEMPO』 青柳碧人 第173回直木賞候補作

<その他>

『追跡 公安捜査』 遠藤浩二 『ルポ “霊能者” に会いに行く』 友清哲

『増補版 東京おいしい老舗散歩』 安原真琴

『酒を主食とする人々 エチオピアの科学的秘境を旅する』 高野秀行

<エッセイ・芸能>

- 『有吉佐和子ベストエッセイ』 有吉佐和子
『独断と偏見』 二宮和也 『パパイヤから人生』 夏井いつき
『マ・エノメーリ』 藤井隆 『ビバ 女のお古』 カートン
『やなせたかしの生涯 アンパンマンとぼく』 梯久美子
『17歳の時に知りたかった受験のこと、人生のこと』 びーやま

<農業・環境>

- 『ニセコ化するニッポン』 谷頭和希

<新書>

- 『多動脳 ADHDの真実』 アンデシュ・ハンセン
『関係人口』 高橋博之 『ヒトとヒグマ』 増田隆一



<文庫・歴史文庫>

- 『一次元の挿し木』 松下龍之介 **第23回「このミス」大賞グランプリ受賞作**
『いつまで』 畠中恵 『死ぬまでに行きたい海』 岸本佐知子
『しろがねの葉』 千早茜 **第168回直木賞受賞作**
『Dr.グレーゾーン』 藤山素心 『棘の家』 中山七里
『野火、奔る』 あさのあつこ 『舟を編む』 三浦しをん
『迷霧の敵』 渡辺裕之 『優莉匡太 高校事変 劃篇』 松岡圭祐

<子ども向け図書> (健康支援センターにあります)

- 『あなたのことがだいすき』 えがしらみちこ
『いまのきもちはどうなる？』 えがしらみちこ
『うみへ やまへ』 三浦太郎 『バナナじけん』 高畠那生
『ガラガラがらくた！？』 エミリー・クラヴェット／なかがわちひろ
『キツネザルのあったかいセーター』 ウルリカケステレ／石井登志子
『きみとぼく』 谷口智則 『はっばのほん』 いわさゆうこ
『ぎょうざがいなくなりさがしています』 玉田美知子
『こねこねこのねこピッツア』 くさかみなこ／カワダクニコ
『ゆきのおくりもの』 リンデ・フォース／西村由美



- ◎希望書籍は「村有図書貸出簿」の最後にある『購入希望欄』に書いてください。購入する際の参考にいたします。
◎「村有図書新刊の一覧」は赤井川村ホームページにpdfデータで掲載しております。

